

令和7年第2回 北海道議会定例会〔予算特別委員会・建設部所管〕開催状況

開催年月日 令和7年6月27日（金）

質問者 共産党 丸山 はるみ 委員

担当部課 建設部土木局河川砂防課

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>一 海岸保全について</p> <p>(一) 海岸保全基本計画について 海岸保全については、2003年に、計画的で整合が取れた海岸保全を行うため、海岸保全基本計画が策定され、その後、地域ごとに改定が行われております。計画の目的を伺うとともに、計画策定時には地域の意見を聞くというふうにありましたが、その目的と仕組みについて伺います。</p> <p>(二) 小樽市蘭島海岸について 答弁のあった関係住民の中には当然その地域の住民も含まれるというふうに考えますが、2017年の4定の予特でも取り上げておりますが、小樽市蘭島海水浴場の管理に携わる方からですね、沖にある離岸堤のかさ上げの要望が、もうこれは以前から出されております。計画上この地域の特徴とどのような管理をしているのか伺います。</p> <p>(三) 道内海岸保全の要望件数について 北海道全体及び蘭島海岸を含む計画地域において、海岸保全にかかわる要望というのは年間に何件あるのか、また、整備の優先順位の考え方についてお聞きします。</p> <p>(四) 海岸保全施設の整備状況について 直近5年間で、何件の海岸保全施設の整備等がなされたのか伺います。</p> <p>(五) 住民の要望実現の進捗について 5年間で98箇所ということだったので、もう少し多い方が良いんじゃないかと思うんですけど、要望件数に比してこうした実施件数が少ない理由と国交付金の採択基準というのを伺います。</p>	<p>○砂防災害担当課長 吉田 敏 海岸保全基本計画についてであります。海岸法では、津波、高潮、波浪等による災害からの海岸の防護に加え、環境の整備と保全及び利用の確保を図り、これらが調和するよう、総合的に海岸の保全を推進することとしており、都道府県は、国が定めた海岸保全基本方針に基づき、海岸の区域ごとに海岸保全施設の新設改良、維持などの整備に関する基本的な事項を基本計画に定めることとされております。 また、基本計画を定めるにあたっては、学識経験者や関係市町村長等の意見を聴くことや、関係住民の意見を反映させるために必要な措置を講じることとされており、これまで道では意向把握のためのアンケート調査などを行っております。</p> <p>○砂防災害担当課長 吉田 敏 計画上の位置付けなどについてであります。蘭島海岸を含む周辺地域は、砂浜が広がっており、住宅が海岸付近に多く見られることから、砂浜の保全と住宅地の防護が必要な地域としております。 また、定期的にパトロールや点検などを実施し、適切な維持、修繕を行っているところでございます。</p> <p>○土木局長 上村 明弘（河川砂防課） 整備要望などについてであります。令和6年度は全道で321件あり、このうち、石狩湾沿岸の後志地域については、17件の要望があったところでございます。 また、整備については、越波や侵食により、人家等が被害を受けた箇所などについて重点的に進めているところでございます。</p> <p>○砂防災害担当課長 吉田 敏 整備状況についてであります。令和2年度から6年度までの5年間で、海岸保全施設の整備などを98箇所で行ったところでございます。</p> <p>○砂防災害担当課長 吉田 敏 採択基準などについてであります。本道は長大な海岸線を有しており、多額の費用が必要となることなどが整備が進まない要因となっているところでございます。 また、国の交付金事業につきましても、海岸線延長1km当たり、波浪等による被害が想定される面積が5ha以上、またはその範囲内の人口が50人以上であり、加えて、1箇所当たりの事業費が5千万円以上となることが採択の要件となっているところでございます。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(六) 道単独の事業費の推移について 国交付金の要件、面積の要件と人口の要件が要望が上がっている蘭島ではなかなかこれに当てはまらないんですよ。そうすると道単独の事業というふうになると思うんですが、蘭島海岸を含む石狩湾沿岸の後志地域の整備に関わる道の単独事業費について直近のものとその5年前及び10年前の事業費を伺います。</p>	<p>○砂防災害担当課長 吉田 敏 単独事業費についてであります。石狩湾沿岸の後志地域では、令和6年度は約5,100万円となっております。5年前の令和元年度は実績なし、10年前の平成26年度は約1,500万円となっております。</p>
<p>(六) 一 再 道単独の事業費の推移について ちなみにですね、その令和6年度の約5,100万円、この事業の内容についてちょっとお聞きしたいのですね、もう少し細かく聞きたいので、事業費について、令和2年までさかのぼって各年度の事業費をもう一度お聞きしていいですか。</p>	<p>○砂防災害担当課長 吉田 敏 工事内容などについてであります。小樽市の銭函海岸で離岸堤のかさ上げ工事を延長15m実施しており、8tの消波ブロックを98個製作し、海上運搬を行い、既存の離岸堤の上に据え付けております。 また、令和5年度の事業費は約5,300万円、令和4年度は実績なし、令和3年度は約500万円、令和2年度は実績なしとなっております。</p>
<p>(七) 離岸堤の目的について 銭函の、私あの、通勤で銭函を通ってくるので毎日見ているんですけど、それに5,100万円かかるということは、ちょっと蘭島海岸はそれではとても追いつかないということで、それで直近のその事業費を聞いてもですね、なかなか厳しいということは分かるんですけど、しかしですね、蘭島海岸の沖に設置されている離岸堤の目的は、砂浜の保全だと理解をしています。で、かさ上げを要望している地域住民はですね、「砂浜が痩せてきてる」というふうに訴えているんですね。そうすると保全の目的に対して不十分というふうに言えるのではないかと思います。見解を伺います。</p>	<p>○砂防災害担当課長 吉田 敏 蘭島海岸の離岸堤についてであります。海岸侵食の防止、軽減及び海浜の安定化を図ることを目的として、昭和49年から昭和55年までに整備したところでございます。 昭和22年に平均40m程度であった前浜の幅が令和3年では平均50m程度となっております。10m程度の増加が確認できていることから比較的砂浜の安定は図られているものと考えているところでございます。</p>
<p>(八) かさ上げ要望に対してこれまでの検討内容について 数字だけ見るとそういうことになってしまうんですけど、しかし、道がまとめた海水浴場利用実績によるとですね、蘭島海水浴場は、年間の利用者数こそ小樽ドリームビーチに首位を譲っておりますが、それは開設期間が蘭島は短いんですね。一日平均の利用者数は群を抜いて多いというふうにデータとしても出ています。で、それはですね、徒歩圏内に JR 蘭島駅がありまして、そこから海水浴場に行く途中にはコンビニエンスストアもありまして、とても利便性が高いんですね。そして車でなくても利便性が高いんですが、駐車場の整備をしていて、これも人気の理由の一つだというふうに思ってます。で、その海水浴場の運営を担っているのが、地域住民なんですね。その地域住民から長年にわたって、離岸堤かさ上げの要望が出ているんですけども、これまでどのように検討してきたのか伺います。</p>	<p>○砂防災害担当課長 吉田 敏 検討状況についてであります。道では地域からの要望があったことを踏まえ、対策の必要性について確認するため、昭和22年と平成27年に撮影した航空写真や、令和3年に行った測量結果を比較し、砂浜の安定を確認しているほか、定期的にパトロールを行い、現地の状況を確認しているところであり、引き続き、現地状況を注視してまいります。</p>

質 問 要 旨	答 弁 要 旨
<p>(九) 要望実現の検討について</p> <p>5月に現地で後志総合振興局小樽建設管理部職員に現地を見てもらって要望を伝えたところです。で、その際に航空写真も示されました。確かに上から見ると砂浜の浸食は大きなものでないという判断というふうになりますが、地域住民は砂の流出を防ぐためには離岸堤では効果が薄いと、漁師さんに相談をしてくださる、いわゆる突堤を設けてもらったかどうかと、こんなことまで相談をしてアイデア出しをしているわけですね。で、現地調査をした5月は、冬季に砂浜はもちろん、堤防を越えて流れ着いたごみがまだ残っておりまして、冬季には堤防を越えて越波が発生しているというふうにも明らかになりました。堤防の陸地側には海の家が建っております。こうした建物に被害が及ばないとも限りません。この地区の離岸堤かさ上げの住民要望も含め、各地からの要望に対して今後どのように対応していくのか伺います。</p> <p>是非お願いいたします。</p>	<p>○建設部長 関 俊一（河川砂防課）</p> <p>今後の対応についてであります。海岸保全施設は津波や高潮、波浪などの災害から人命や財産を守る大変重要な施設と考えているところでございます。</p> <p>このため、道では、被害が発生した海岸を優先するなど、地域の実情を踏まえながら、効率的、効果的に整備を進めているところでございます。</p> <p>道といたしましては、引き続き、適切な維持管理に努めますとともに必要な予算の確保に努め、道民の皆様の安全で安心な暮らしが守られるよう、取り組んでまいります。</p>